

建設業法施行令の改正について

2023年(令和5年)1月1日に、建設業法施行令に定められた金額要件の見直しが行われました。この改正により、一般建設業の許可で制限される下請代金総額や、主任技術者・監理技術者の配置に関する金額などが変更されています。その概要は、以下の通りです。

✓近年の工事費の上昇を踏まえ、金額要件の見直しを行います。※()内は建築一式工事の場合

	現行	改正後
特定建設業の許可・監理技術者の配置・施工体制台帳の作成を要する下請代金額の下限	4000万円 (6000万円)	4500万円 (7000万円)
主任技術者及び監理技術者の専任を要する請負代金額の下限	3500万円 (7000万円)	4000万円 (8000万円)
特定専門工事の下請代金額の上限	3500万円	4000万円

出典：国土交通省ウェブサイト (<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001521533.pdf>)

この改正により、弊社が出版している令和5年度版の書籍のうち、次頁にあげた書籍について、各ページに記載されている「XXXX万円」の数値を読み替える必要がある箇所があります。対象となる書籍と読み替える必要がある箇所は、次頁の通りになります。弊社ホームページに掲載されている正誤表(<https://get-ken.jp/seigo/>)と合わせて確認してください。

令和5年度 分野別問題解説集 1級電気工事施工管理技術検定試験 第一次検定

- ①書籍に掲載されている「4000万円」の金額を「4500万円」に読み替えてください。
 - ②書籍に掲載されている「6000万円」の金額を「7000万円」に読み替えてください。
 - ③書籍に掲載されている「3500万円」の金額を「4000万円」に読み替えてください。
 - ④書籍に掲載されている「7000万円」の金額を「8000万円」に読み替えてください。
- ※備考：42ページの左下に記載されている「万円以下」の文字は「万円以上」の誤植になります。

令和5年度 分野別問題解説集 1級建築施工管理技術検定試験 第一次検定

- ①書籍に掲載されている「4000万円」の金額を「4500万円」に読み替えてください。
 - ②書籍に掲載されている「6000万円」の金額を「7000万円」に読み替えてください。
 - ③書籍に掲載されている「3500万円」の金額を「4000万円」に読み替えてください。
 - ④書籍に掲載されている「7000万円」の金額を「8000万円」に読み替えてください。
- ※備考：683ページの「H30-問題80」の問題文中にある「7,000万円」の文字は読み替えの対象ではありません。

令和5年度 分野別問題解説集 1級土木施工管理技術検定試験 第一次検定

- ①書籍に掲載されている「4000万円」の金額を「4500万円」に読み替えてください。
- ②書籍に掲載されている「6000万円」の金額を「7000万円」に読み替えてください。
- ③書籍に掲載されている「3500万円」の金額を「4000万円」に読み替えてください。
- ④書籍に掲載されている「7000万円」の金額を「8000万円」に読み替えてください。

令和5年度 分野別問題解説集 1級管工事施工管理技術検定試験 第一次検定

- ①書籍に掲載されている「4000万円」の金額を「4500万円」に読み替えてください。
- ②書籍に掲載されている「6000万円」の金額を「7000万円」に読み替えてください。
- ③書籍に掲載されている「3500万円」の金額を「4000万円」に読み替えてください。
- ④書籍に掲載されている「7000万円」の金額を「8000万円」に読み替えてください。